

152 一般質問 の視点



一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、23人が登壇し、152の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



**有機米・有機食材を
学校給食に！**
牧田 正樹（政新クラブ）



問／食糧安全保障の観点からも、国産国産、自給率を高めることを政策の中心に据えて取り組むべきと考える。また、学校給食に有機食材の導入と地元産野菜の利用促進を図るべきではないか。

答／有機食材を学校給食に使用する場合は、作付面積の拡大が必要となる。生産者の意向を聞き、有機農業の推進に注力する。地元野菜の使用割合は、平成22年度が約4・5%、令和3年度では約18%へ高めてきた。農政部門と協力し、地場産野菜の確保に努め、地産地消の取組みを推進する。

スクールバスの拡大を！

問／スクールバスを拡大する通学方法の見直しができるか。

答／通学実態や地域の実情を考慮し、スクールバスの導入を含め、学校や保護者と協議する。

地域医療センター病院の開院スケジュールは

問／センター病院の開院スケジュールは。

答／令和11年度までの竣工が要件の合併特別債を活用し、可能な限り早期の着手を目指す。

問／県道上越脇野田新井線は、歩道が狭く除雪が困難となっている。県に早期の働きかけを。

答／様々な機会を捉え、要望活動に取り組み。



**体育施設！
新設に向けた取組みは？**
こんどう 彰治（政新クラブ）



問／各競技団体からスポーツ施設の新設・大規模改修の要望があるが、検討状況はどうか。

答／ソフトボール、サッカー、テニス、野球、水泳、陸上競技、ビーチバレーボール、スケートボードの施設整備の要望を受けている。整備内容や維持管理経費、財源の確保、経済効果などの条件を精査し、検討を進める。

通年観光 住民の反応は？

問／寺町まちづくり協議会との意見交換を終えての感想や今後の対応はどうか。

答／まちづくりの悩みや課題、観光客を迎える戸惑いを聞き、地域と膝を交え、地域の将来を共に議論することが重要と認識した。

上越妙高駅を「まちの顔」に！

問／上越妙高駅周辺は、「まちの顔」として活性化が期待されるが、今後の活用はどうか。

答／新産業の創出を促す象徴的なエリア形成を目指し、地域DXの推進力となる情報系企業の進出を促していく。

（仮称）地域独自の予算への不安解消へ

問／地域協議会会長会議の意見に対する考えは。

答／意見を参考にしながら、仕組みをつくり、地域とともに取組みを実現していきたい。